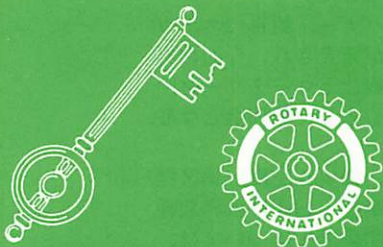


THE ROTARY CLUB OF NAGOYA-CHIKUSA



なごや ちくさ WEEKLY

名古屋千種ロータリークラブ
承認 1982年 8月24日
例会日 火曜日 12:30
例会場 愛知厚生年金会館
事務局 千464 千種区池下一丁目4番18号
井上ビル4F D号
Tel 763-5110
会長 菊池昭元

No. 34 (1985~86)

あなたが 鍵です You are the Key

1985~86年度

RI会長 エドワード F. カドマン

第179回例会 昭和61年3月4日(火) 晴

- ◇ “君が代”
- ◇ “我等の生業”
- ◇ 出席報告

会員 57(55)名 出席 40名
出席率 72.73%
前回 2月25日 (修正出席率)96.86%

- ◇ ビジター紹介 6名

- ◇ ニコボックス

和田 正敏君 バッチ忘れました。本日、早退します。

安藤銀之助君 先回の麻雀大会で、優勝してしまいました。

杉山 貞男君 早退致します。

尾関 武弘君 長男が大学を卒業し、就職しました。本日、早退致します。

加藤 大豊君 第1回冬季アジア競技大会にJOC本部役員として、札幌に行き参りました。

- ◇ 宮尾幹事報告

1. 3月11日午後6時より松楓閣にて、次回講演者末松玄六氏を囲む会を開催いたします。参加いただけます方は、事務局までご連絡下さい。

- ◇ 加藤大豊君報告

第1回冬季オリンピックに、大会役員として先日行って参りました。心配しておりました天候も回復し、アジア7カ国430名の選手団により今も競われております。日頃険悪ムードの国の選手団も競技後には互いに酒を酌み交わし、仲よく談笑している様子を見ますと、スポーツの交流こそ世界平和に意義あるものと痛感致しました。

- ◇ 菊池会長挨拶

雪が降り、そして朝夕はまだまだ冷えこむ今頃であります。6日は啓蟄で冬眠していた地中の虫もそろそろ穴を啓いて、這い出して来ると言う日で、庭先の木の中には、早く

も若芽がふいて来たものもあります。熱海の市内を流れる糸川辺りの早咲桜は満開で、既に花見会も終わりました。さて、富士山の勇姿が見られるのは年間に80日前後と言われる中、先日は久方振りに新幹線の車窓より5合目迄真白に冠雪して8合目辺りにはほんの少し横になびく綿雲が「ポッカー」浮かび、青空をバックに裾野を長く引いた富士山の勇姿を見る事が出来、恰も絵の様な景観にしばし目を楽ませて頂きました。富士山は巨大な水瓶と言われ、その全体の年間降雨量は、東京都の年間使用水量をも凌ぐとも言われます。この富士山の白雪は何処へ行くのでしょうか。

「富士の白雪は解けて流れて三島に注ぐ」と歌われますが、それは火山砕屑物の層に呑み込まれて仕舞う為で、三島地方は地下の湧水が豊富です。巨大な須恵器を置いたと仮定するならば容易に理解出来ます。そして山裾の周囲には「忍野八海」「白糸の滝」「富士五湖」があり、一度隠して仕舞った水を小出しにする富士山の心憎いばかりの演出ではないでしょうか。白糸の滝は「この上にいかなる姫かおはすらん」と源頼朝が詠んだ様に女性的な滝で、清流が流れ落ちる滝ではなく崖の途中から富士山の湧水が「すだれ」の様に垂れ下り、「すだれ」の上部は新富士の溶岩、下部は水を透しにくい古富士泥流で、季節によって滝が涸れる事のない滝として知られています。又、富士山には「八百八沢」と呼ぶ多数の沢があり、中でも代表的な最大の沢は北東側の吉田大沢、真西に本大沢があります。現在、この大沢崩れが深刻な問題となっており、その崩れは約1,000年前に始まったと言われ規模はどんどん広がっています。現在の巾は100mから最大500m、深さ最大約150m、延長距離は約10kmにも及び、崩壊の最上部は火口に迫り富士山がパッキリと二つに割

れてしまうのではないかと心配の声がある程で、我が国最大の崩壊地となっています。国もこの大沢から強雨の度に流れ出る土石流の災害をなくし富士山の美しい形を保つ為、3年程前から谷の一部にダムや擁壁で固める砂防工事を進めております。日本の代名詞であり、神霊の宿る神秘的な山、文学美術で国民の愛する富士山を後世の為に損う事なく、健全な姿を維持する様に対処する事が、現代の吾々に与えられた責務と致します。そしてこんな中にも日本中のロータリアンの奉仕の道もあるのではと考える次第であります。

米山奨学生マーウットン・ソムサク君が、名古屋工業大学院研究生として2年間の勉学を終え、いよいよ卒業されます。当クラブの例会に出席されるのも、今日で最後となりました。日本での留学を基に、今後の活躍を願っております。又、竹内先生にはカウンセラーとしていろいろお世話いただき、有り難うございました。

- ◇米山奨学生マーウットン・ソムサク君
に記念品贈呈
◇マーウットン・ソムサク君挨拶



私は57年1月より米山奨学生として千種ロータリークラブでお世話になりました。留学するまでは、日本についての知識といえば歴史的な事とタイで売られている日本製品の事しか知りませんでした。日本へ来て、まず日本語の勉強から始め、いろいろ経験し理解しました。万国では時々、大学生を中心に日本製品の購入を拒否します。なぜなら日本人は、タイ製品をととても粗悪であると思っているからです。でも、決してそんなことはありません。赤字経済を立て直すためにも、もっと万国を理解してほしいと思います。私もタイに帰ってからも、ここで学んだ事を役立てながら、もっと日本についても理解するよう頑張ります。私の知り合った人達は皆やさしくして下さり、感謝しております。長い間、有り難うございました。

- ◇ I G F 報告
深見国際奉仕委員長
昭和61年3月2日に、インターシティ・ゼ

ネラル・フォーラム (I ・ G ・ F) が名古屋観光ホテルで行なわれました。

右会合では、福田ガバナー、鮎谷パストガバナー、吉田分区代理が発表され、今回のテーマは、主として国際奉仕とロータリー財団についてで、これを中心とした勉強会となりました。

国際奉仕については、青少年交換、地区提携、W・C・S (世界奉仕) および世界親睦活動について、また財団奨学生については、大幅に派遣学生数がふえたことについての報告がありました。

財団については、これまでは留学生派遣数1人あたりの拠出金により算出されていたのが、今年度からは、留学生1人につき1万9,000ドルの拠出金という算定基準にかわったため、17名もの多数の財団奨学生が派遣できることになりました。

今後も17名程度の派遣留学生数の確保ができる見とおしです。

財団奨学生の同窓生2名の報告と263地区からドイツへ派遣された奨学生のピアノ演奏が格調高く行なわれ、盛会でした。

来年度からは、分区が、尾張第1、名古屋第1、名古屋第2と分かれ、I・G・Fも格別に行なわれる予定です。

ロータリーの営利化を防止しよう

ロータリアン間の取引関係に関するロータリーの方針は、「ロータリアンはその同僚ロータリアンから、他の実業家に対する場合よりも多くの利便を期待してはならないし、ましてこれを要求するようなことがあってはならない。」ということです。

(035-J A、手続要覧、第5章参照)

国際ロータリーのこの基本的信条は、最初1930年代に表明され、1980年代にR・I・理事会によって再確認されましたが、これは、理念においても、実践においても入念に守らなければならないものです。ロータリアンの「事業名簿」を配布すべきではありません。クラブ出版物に広告を載せる場合でも、広告者をクラブ会員と言及してはなりません。この原則を守ることによって、ロータリー・クラブは、職業奉仕の精神に富む特質を保持しているのです。

(R I ニュースより)

- ◇次回例会 (3月11日)

講演

“末松教授、経済を語る”

名古屋大学名誉教授

末松 玄六 先生 (紹介 浅井君)

- ◇次々回例会 (3月18日)

春季家族会の為、講演はございません。

(星が丘ボウルにて、午後5時30分より)